

平成26年度 石川県水産振興協議会 次第

平成27年3月19日(木)

10:30~12:00

県庁11階1110会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

- (1) 県の水産施策方針について(水産課)・・・・・・・・・・資料 - 1
- (2) 漁業士の認定について(水産総合センター)・・・・・・・・・・資料 - 2
- (3) 「輪島の海女による伝統的素潜り漁技術」の石川県無形民俗文化財指定
及び海女の「いしかわ里海の至宝」認定について(水産課)
・・・・・・・・・・資料 - 3
- (4) 平成26年度水産総合センター研究成果等について(水産総合センター)
・・・・・・・・・・資料 - 4
- (5) 意見交換
- (6) その他

4 閉 会

平成26年度石川県水産振興協議会における委員からの主な意見

1 県の水産施策方針について

【説明概要】

県の水産施策体系を基に平成27年度の主要施策の概要を説明した。

【質疑】

特になし。

2 「輪島の海女による伝統的素潜り漁技術」の石川県無形民俗文化財指定及び海女の「いしかわ里海の至宝」認定について

【説明概要】

石川県無形民俗文化財指定及びいしかわの里海の至宝認定に至った経緯を説明した。

【質疑】

- 輪島の海女だけをクローズアップさせるのではなく、県内全体の漁業者、女性等に焦点を当てる必要がある。また、海女は石川県無形民俗文化財指定及びいしかわ里海の至宝に認定されたことにより、社会的責務が生じる立場に立った。積極的に社会活動に参加することが必要。
- 海女からワカメを直接買い上げている県漁協の塩蔵ワカメの販売価格が一番安い。県漁協と県漁協からワカメを購入している製造会社との間で、販売価格設定に公平性を持たせる必要がある。

3 平成26年度水産総合センター研究成果等について

【説明概要】

平成26年度水産総合センター研究報告成果の概要及び「石川県水産総合センターによる漁業情報提供サービス」の取組みについて説明した。

【質疑】

- 小型の子持ち甘えびが増えたことで、低価格が続いている。網目拡大で銘柄「小」の甘エビを保護するよりも、小型子持ち甘エビの漁獲を増やした方が、将来、子持ち甘エビが大型化する。
- 網目拡大で小型甘エビを獲らなければ、将来的に大きなサイズの漁獲が期待できるのであれば、獲らない方が良い。

4 意見交換

【意見】

- 石川県漁協各支所は、所属する漁業者、女性が石川県漁業士会、石川県漁協青壮年部連合会、石川県漁協女性部等が催すイベントに参加できる環境を作ってほしい。

5 その他

【報告事項】

事務局から水産総合センター美川事業所で飼育していたサケの放流用稚魚におけるレッドマウス病の発生について説明した。

【質疑】

特になし。